

「丸北物流拠点」の施設概要について

1 「丸北物流拠点」の施設整備について

青果卸売業者である北九州青果(株)が、市場敷地内に市場再整備の一環である「定・低温卸売機能」を兼ね備えた共同物流拠点施設『丸北物流拠点』を国の補助金(県経由)を活用して自社整備した。

【建物概要】 定・低温(2℃～15℃)で青果物の品質管理を行う施設
鉄骨造、平屋建、延床面積 7,029 m²

【建物所在地】 中央卸売市場内の青果棟南側

【建設費】 約15億円

(うち国補助金対象事業費:約12億円 補助金:約3.5億円)



2 施設の機能・目的

(1) 共同物流拠点機能≪民的機能≫(供用開始:令和5年11月以降)

九州から関東圏域への青果物を集約するもの

⇒トラックドライバーの人手不足などにより、九州から長距離輸送が困難になるため、本市で九州各地の青果物を集約し、フェリー輸送等を用いたモーダルシフトを実現する。

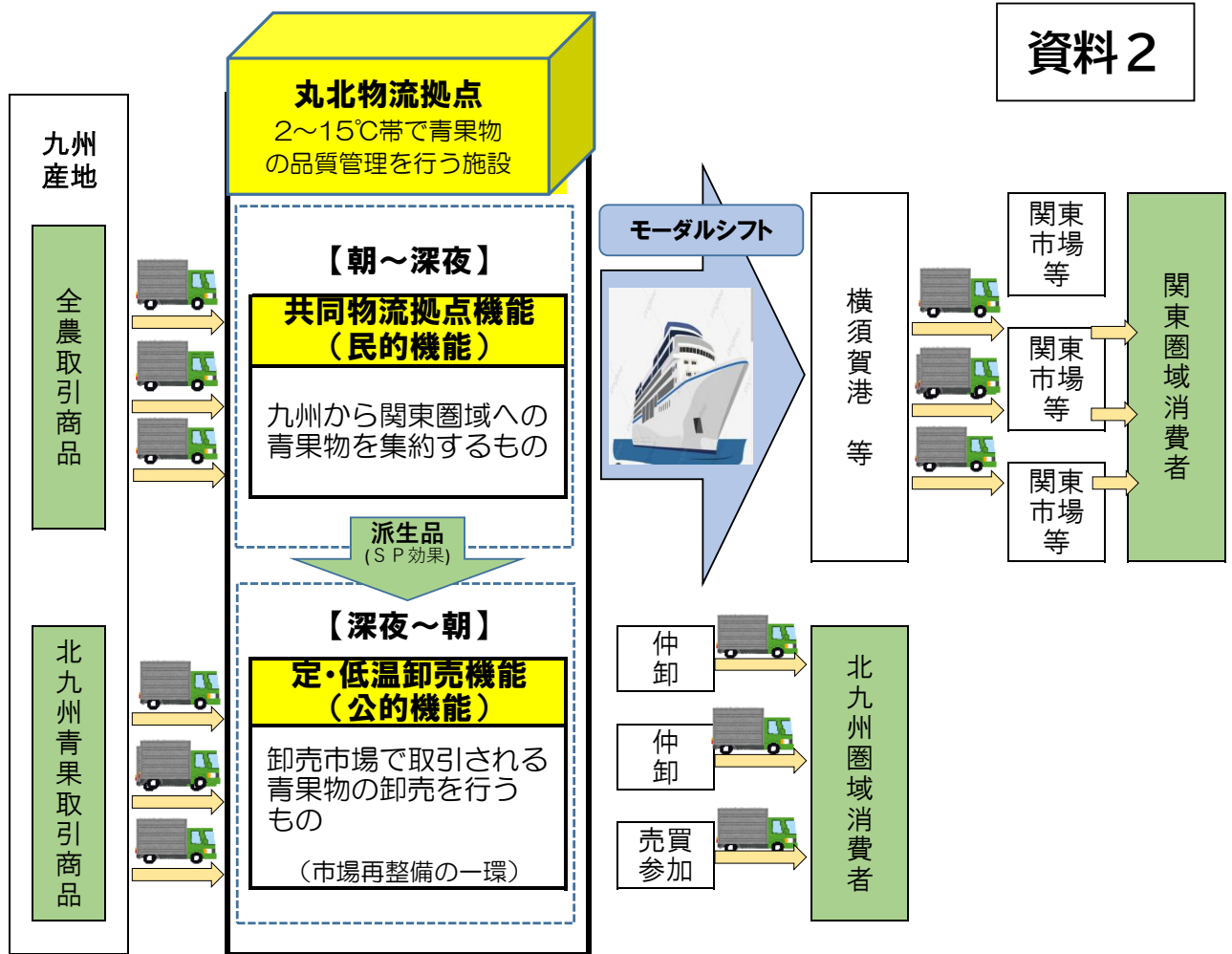
(2) 定・低温卸売機能≪公的機能≫(供用開始:令和5年10月1日)

(1) で扱う青果物以外に、当市場内で取引される青果物の卸売を行うもの

※市場再整備の一部(品質管理機能の高度化)を、市に代わって北九州青果が整備する。

丸北物流拠点概念図(時間帯により同一施設の機能を変える)

資料 2



位置図

